

会長・副会長の選任結果

岡山県医療費適正化推進協議会設置要綱第3条第2項の規定に基づき、会長・副会長の選任を行った結果は下記のとおりです。岡山県医療費適正化推進協議会設置要綱第4条第1項の規定により、令和5年3月31日までの期間中の会長・副会長の選任となります。

記

1 会長

川崎医療福祉大学医療福祉経営学科特任教授 浜田 淳 委員

2 副会長

岡山県立大学 保健福祉学部 教授 沖本 克子 委員

令和3年度 医療費適正化推進協議会 第3期医療費適正化計画の進捗状況について

資料番号	項目	委員意見	県の考え方
資料3 P1～P5	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査の実施率 ・特定保健指導の実施率 ・生活習慣病等の重症化予防 	<p>特定健診・特定保健指導ともに2023年度に高い最終目標を設定しており、実施率の向上に励む必要がある。また、糖尿病性腎症における年間新規透析導入数は微減の状況だが、関係機関と連携の上、更なる事業の推進について対応いただきたい。</p>	<p>特定健診・特定保健指導の実施率の向上に向け、健診データや医療費等の分析、また、ナッジ理論を用いた受診勧奨事業等により、市町村国保の取組を支援しているほか、保険者協議会等と連携して普及啓発活動を実施しているところです。今後も関係機関と連携しながら、受診率向上のための取組を実施してまいります。</p> <p>また、糖尿病性腎症における年間新規透析導入患者減少に向け、岡山大学病院や県医師会など関係機関と連携し、岡山県糖尿病性腎症重症化予防プログラム（岡山方式）のアウトカム評価を今年度から実施しております。今後、集約したデータを解析し、その結果をもとに効果的な糖尿病性腎症重症化予防の取組の推進を図ります。</p>
資料3 P6～P8	<ul style="list-style-type: none"> ・たばこ対策 	<p>この度、県の事業所向け禁煙補助事業と、協会けんぽ岡山支部の事業所向けの健康づくり施策を県の封筒に同封して送付する共同事業を実施したが、今後も、協会の事業所や加入者を絡めた施策を協力して実施し、働く世代の健康増進に努め、医療費適正化の一助としたい。</p> <p>R3年度の喫煙率の増加は、新型コロナによる生活の変化が背景にある（エビデンスがある資料に基づいているわけではない）と言われている。国立国際医療研究センターなどの分析により、喫煙は重症化リスクを高める可能性があることが明らかになっていることから、喫煙率減少を目指した新型コロナ対策をさらに積極的に進めていただきたい。</p>	<p>今後も、有効である共同事業がありましたら、連携して実施してまいります。</p> <p>新型コロナウイルス感染症予防のためにも、喫煙率減少に向けた対策等について定めている第2次健康おかやま21セカンドステージや第3次岡山県がん対策推進計画に基づき、引き続き、積極的に対策を進めてまいります。</p>